

紙幣に新しい色 より安全に、より洗練され、そしてより安心に

米国政府は2003年後半、新しいデザインと安全対策が施された紙幣の発行を、20ドル紙幣から順次、開始します。新50ドル紙幣が2004年に、新100ドル紙幣が2005年に発行されます。新しい20ドル紙幣には、1990年代に初めて導入され、確認が容易な3つの重要な安全対策が引き続き採用されています。それは、透かし、偽造防止系、カラーシフティング・インクです。



偽造防止系

紙幣を光にかざし、紙に埋め込まれた、紙幣の片側に垂直に伸びる偽造防止系（合成繊維の線）を探してください。よく見ると、「USA TWENTY」という文字と小さな旗がその系に沿って描かれているのが、両面から見えます。この系は、紫外線の下では緑色に光ります。



カラーシフティング・インク

紙幣の表面の、右下の隅にある「20」という数字を見てください。紙幣を傾けると、カラーシフティング・インクが赤褐色から緑色に変わります。

透かし

紙幣を光にかざし、アンドリュー・ジャクソン大統領の大きな肖像面によく似た透かし模様、あるいは、ほのかな像を探してみてください。透かしは紙の一部で、紙幣の両面から見えます。

その他のデザイン・安全対策上の特徴



色
新しいデザインの紙幣で最も目立つ違いは、紙幣の両面の背景色に、小さな緑色と薄桃色が加わったことです。「TWENTY USA」の文字が、肖像面の右側に青色で印刷され、紙幣の裏面の背景には、小さな数字の「20」が黄色でいくつも印刷されています。



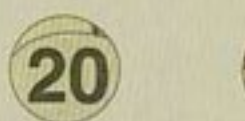
自由の象徴
紙幣の表面に、新しい「自由の象徴」として、2羽のハクトウワシが描かれています。アンドリュー・ジャクソン大統領の肖像面の左側の背景にある大きな青色のワシは、ジャクソン大統領の時代に絵画や彫刻の題材となったワシの典型です。右下の光沢のある緑色の小さなワシは、より現代的な彫刻デザインです。こうした自由の象徴は、紙幣の顔面によって異なります。



肖像画と飾り模様
表面にあるアンドリュー・ジャクソン大統領の肖像面を囲む白の境界線と細い線および裏面のホワイトハウスの飾り模様はなくなりました。肖像画は上方に移動し、肩の部分が紙幣の端まで伸びています。飾り模様の背景には、さらに細かい浮き彫り印刷が加わりました。



マイクロプリント
マイクロプリントされた文字はあまりにも小さいため、複製が困難です。新しいデザインの紙幣は、新たに表面の2カ所にマイクロプリントが施されています。1つは肖像面の右側に青色で印刷された「TWENTY USA」のリボンの最初の3文字の縁に沿って「USA20」と印刷されています。2つ目は、米国財務省出納官の署名の下の境界線に黒色で印刷された「THE UNITED STATES OF AMERICA 20 USA 20」です。



視力の弱い方のために
紙幣の裏面の右下に、数字の「20」が大きく印刷され、見やすくなっています。



紙
米国紙幣の紙は、4分の1が麻、4分の3が綿で、赤色と青色の繊維が混入されています。



連邦準備制度の表示
肖像面の左側にある共通の印章は、連邦準備制度全体を表わすものです。左側の通し番号の下にある文字と数字は、その紙幣の発行元の連邦準備銀行を表わしています。



通し番号
11桁の数字と文字の組み合わせによる固有の通し番号は、紙幣の表面の2カ所に印刷されています。